

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	伝統的文化的保存と継承	施策No	09-03	部課名	地域文化スポーツ部生涯学習課
関連部課名				課長名	浦田 内線 3350
行政評価事業体系	分野	文化創造都市			
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進		

目的 区に伝わる有形・無形の文化財を、区民全体の財産として保存・継承するとともに、そのすばらしさを広く内外に周知し、未来へと伝える。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	地域への愛着度	2.85	2.92	2.90	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	ふるさと文化館利用者数（人）	23,022	19,085	21,245	23,400	25,000	展示室観覧者 + 郷土学習室利用者
	伝統技術展参加職人数（人）	68	69	65	65	68	
	学校職人教室実施学校数（校）	24	24	24	24	24	全校で実施している

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	給与関係費	50,626	45,015	5,611		地方税	0	0	0
	物件費	70,034	58,028	12,006		国庫支出金	1,012	1,250	238
	維持補修費	2,396	3,232	836		都支支出金	506	2,160	1,654
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	21,310	21,043	267		使用料及び手数料	408	365	43
	減価償却費	40,228	40,228	0		その他	346	218	128
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	2,272	3,993	1,721
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,407	2,418	1,011		行政収支差額(a)-(b)=(c)	183,729	165,971	17,758
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	186,001	169,964	16,037		通常収支差額(c)+(d)=(e)	183,729	165,971	17,758
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	183,729	165,971	17,758		
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	1,090	968	122
	有形固定資産	725,597	685,369	40,228		その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0		固定負債	13,166	12,025	1,141
	建物	1,489,932	1,489,932	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	764,335	804,563	40,228		退職給与引当金	13,166	12,025	1,141
	工作物等	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0		負債の部合計	14,256	12,993	1,263
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	933,873	898,040	35,833
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	933,873	898,040	35,833		
その他の固定資産	222,532	225,664	3,132	負債及び正味財産の部合計	948,129	911,033	37,096		
資産の部合計	948,129	911,033	37,096						

財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として物件費や補助費の割合が高くなっており、物件費は主に建物維持業務や光熱水費、伝統技術展の会場設営の委託費が占めている。29年度は2割程度減少しているが、これは28年度に伝統工芸ギャラリー開設に係る委託費用が含まれていたことによる。

貸借対照表に計上されている有形固定資産は「ふるさと文化館」に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区では条例に基づき文化財の登録・指定を行い、文化財の保存・継承に努めている。とりわけ、江戸時代から引き継がれてきた伝統工芸技術においては、多くの指定無形文化財（工芸技術）の保持者がいる。</p> <p>荒川ふるさと文化館では、区の歴史や民俗資料、文化財を紹介する企画展を定期的実施している。また、単一自治体を実施する日本最大規模の事業として「あらかわの伝統技術展」を行い、伝統工芸技術を魅力を内外に発信している。</p> <p>子どもたちに対しては、伝統工芸技術を体験できる「あらかわ職人道場」や、伝統工芸技術保持者を学校に派遣し、技術の実演・解説・体験学習等を行う「学校職人教室」を実施している。</p> <p>伝統工芸技術の継承者育成を目的として、研修手当や指導料を助成する「伝統工芸技術継承者育成支援事業（荒川の匠育成事業）」を実施している。</p>
課題	<p>区の伝統文化のすばらしさを区内外に広く浸透させ、未来に引き継ぐためには、様々な場面を通じて、その魅力に直接触れる機会を子どもたちをはじめ、多くの方々に提供することが重要である。</p> <p>伝統工芸技術の修得には長い年月を要することから、伝統工芸技術者自身のたゆまぬ技術の向上・研鑽と併せ、長期間にわたり後継者を育成するための支援が必要である。</p> <p>確かな技術に基づいた質の高い伝統工芸品の素晴らしさを多くの方々に知ってもらい、また、実際に使用して良さを感じてもらえるよう、平成29年5月開設の「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、更なる周知を行う必要がある。</p>
今後の方向性	<p>次代を担う子どもたちをはじめ、区に住む人々が伝統文化に対する理解を深め、区の文化財等を通じて郷土への愛着と誇りを持つことができるよう、「荒川ふるさと文化館」の収蔵資料や常設展・企画展の更なる充実を図るなどにより、伝統文化のすばらしさを区内外に積極的にPRする。</p> <p>伝統工芸技術を未来に継承するため、伝統工芸に興味・関心があり、職人となる希望を持つ若者に対して、見習いとしての現地実習から本格的な修業に至るまで、ステップに合わせたサポートにより支援を継続して行う。</p> <p>荒川ふるさと文化館に整備した「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を拠点として、伝統工芸技術の実演や体験、伝統工芸品を展示・販売などを行い、荒川区の伝統工芸の魅力を広く発信するとともに、伝統工芸品の販路拡大の支援を行う。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
荒川ふるさと文化館管理 運営費	05-02-22	116,867	99,153	70,318	53,997	推進	推進	常設展示、企画展示、文化財の保存・収集・伝統技術関連事業等を実施し、それらに関する情報提供等を行う。
荒川ふるさと文化館事業 推進費	05-02-23	17,339	17,247	5,177	5,281	継続	継続	郷土の歴史や、文化に親しむ講座・展示等を提供する事業を実施する。
文化財保護奨励費	05-02-25	16,348	20,778	10,771	16,322	重点的に推進	重点的に推進	区の有形・無形文化財を次代に伝えとともに、区の文化資源として活用する。
江戸伝統技術	05-02-26	35,447	32,787	31,197	30,384	重点的に推進	重点的に推進	平成29年5月にオープンした「あらかわ伝統工芸ギャラリー」の運営と匠育成支援事業の充実を図る。
合 計		186,001	169,965	117,463	105,984			